



園だより

文京区立第一幼稚園
2020年度6月号

URL <http://www.bunkyo-tky.ed.jp/dai1-kg/>

今ここから新しく

副園長 和島 千佳子

アジサイの花のつぼみやビワの実が少しずつ大きくなり、衣替えの季節になりました。

私は、この4月より本園副園長に着任いたしました。臨時休園で始業式や入園式、保護者会などが予定通りに行えず、なかなかお子さんや保護者の皆様と直接会ってご挨拶をする機会がもてないまま季節が移り変わってしまいました。皆様も、以前とは生活のリズムが変わり、行動様式が大きく変化していることと思います。

緊急事態宣言が発令された頃は「早く元のような園生活ができるように、そのための一時の辛抱が大切」と思っていました。しかし、4～5月を過ごしながら、今後は「元通り」ではなく、「これからの新しい生活を建設的に考えていくこと」が必要だと感じています。

昨今の社会の変化の中に希望を感じるものがあります。一例として、博物館や美術館の展示、舞台芸術や演奏などをウェブ上で観たり聴いたりできる環境が以前より充実しています。実際に幼児を連れて行くのは思いとどまりがちな場所も、自宅でお子さんと体験することができそうです。この機会に興味をもったら、状況が落ち着き、お子さんも今より成長した頃、「本物を一緒に見に行こうね」と楽しみにすることもできるでしょう。

幼稚園教育要領（文部科学省が告示する幼稚園における教育課程の基準）の前文には、

「(前略)一人一人の幼児が、将来、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにするための基礎を培うことが求められる。(後略)」と示されています。

幼児期の教育は、環境を通して行い、直接体験や関わり合いを重視します。第一幼稚園では、これまで大切にしてきたことをもとに、今この状況下において幼児に育てたいことを捉え直し、職員一同知恵を出し合い、具体的な工夫をしていきます。バラやアジサイの花に迎えられる季節にスタートするのはとても新鮮に感じられます。発想の転換もしながら、子供たちとともに新しい日々を楽しく過ごしていけるよう、保育を展開していきます。

園生活は、感染予防対策や暑さ対策をし、子供たちの健康に配慮しながら緩やかに再開します。そのため、今後も年度当初と予定が変わる可能性があります。その点において保護者の皆様にご不便をおかけすることもあるかと思いますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

以前に比べると制約を感じる生活が続きます。子供も大人も楽しい時は大いに笑い、泣きたい気持ちややるせない思いにも正直に向き合い、発信し、互いを思い合いながら過ごしていきましょう。



<バラ門のバラ>